

歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学

ー草津温泉に学ぶ、地域の良さを引き出すまちづくりの仕組みー



研修日程：2012年6月23日（土）・24日（日）

研修場所：群馬県吾妻郡草津町

研修主催：シンクタンク藤原事務所

研修同行講師：

藤原直哉（経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所会長）

中西佳代子氏（まちづくりプランナー、株式会社ランドスケープ アンド パートナーシップ代表取締役）

尾崎明子氏（株式会社グローシーズ・サポート代表、NGO TECHJAPAN 専務理事）

<1. 研修内容>

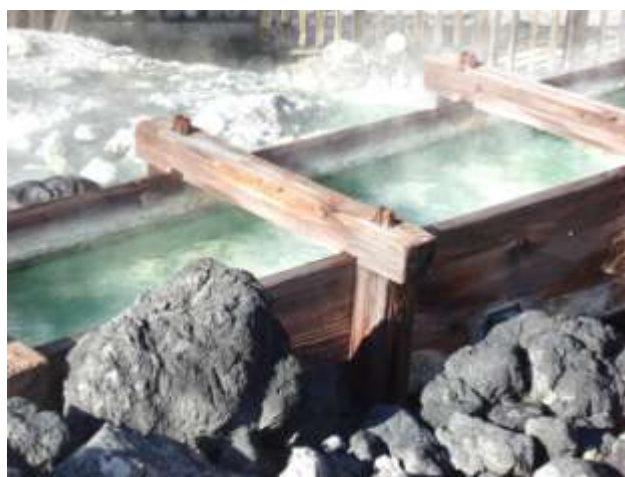
このたびは、2012年6月23日（土）・24日（日）開催の『歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学：草津温泉に学ぶ、地域の良さを引き出すまちづくりの仕組み』の資料請求をしていただき、誠にありがとうございました。

日本三大名湯の1つである上州・草津温泉は、江戸時代から今日に至るまで「時間湯」という独特の湯治作法を守り続けてきた歴史と伝統を誇る温泉地です。また、上信越高原国立公園の山歩きやスキーなどのスポーツの拠点として、さらに草津夏季国際音楽アカデミーなどの国際文化の拠点としても有名で、様々な人気温泉観光地ランキングの上位に名を連ねてきました。

実は、この草津温泉のもう1つの顔として興味深いのが「温泉街」としての歴史です。日本では珍しい「広場を中心としたまちの広がり」が、昔から湯治客や観光客に「温泉街をそぞろ歩きする楽しみ」を提供してきました。



しかし一方で、過去10年以上にわたり、観光客の旅行形態や志向の変化、景気低迷のあおりなどを受け、草津も他の温泉地と同様、入り込み客数の伸び悩みに苦しんでいます。また、「せがいで出し梁づくり」などの江戸時代から続く木造の家並みも時代とともにその姿を変え、電線が宙を覆い派手な色の看板なども目立つ雑然とした街並みが続いています。



いま、この「街並み」の視点から草津温泉街をより魅力のある場所にするにより、住民自らが自慢できるような、また国内外の観光客が温泉とともにその文化や歴史を楽しみに訪れるようなまちづくりの取組みが地域内外の人材の協力の下進められています。

今回の社会見学では、まちづくりプランニングがご専門の中西佳代子氏、サステナブルなリージョナルツーリズムがご専門の尾崎明子氏と一緒に、実際に草津温泉を訪れ、「温泉街」としての草津の歴史を紐解きながら、いまの草津のまちの視察や、まちづくりの取組みに関する情報収集などを行うとともに、経済アナリスト藤原直哉が提唱する「グレート・コラボ

レーション=偉大なる共生」の視点も交えながら、地域の良さを引き出すまちづくりのあり方や地域をリードする組織づくりなどについて考えます。

研修1日目は、昨年12月に登録有形文化財（文化庁）に指定された木造三階建の大正時代の建物の、草津温泉の中心・湯畑広場に面して建つ老舗旅館、山本館に集合していただき、草津温泉とはどんなところなのか？草津の基礎的な情報やまちの歴史について学んでいただきます。（セッション1：草津温泉を知る）その後は、参加者の皆さんと一緒に自分の足で実際にまちを歩き、観察していただきながらまちの骨格や特徴を体験していただきます。（セッション2：草津温泉を体験する）途中には、共同湯の1つ「地藏湯」も体験していただく予定です。



夕方からは、山本館に戻り湯畑を見下ろすお部屋にて実物を見ながら、研修講師の中西佳代子氏と尾崎明子氏から草津観光・景観まちづくりの事例を交えながら、日本の良さが引き立つ地域づくりのポイントや、地域を動かすために必要な取組み、景観まちづくりとサステナブルな観光振興の関係などについてお話いただきます。（セッション3：風景とまちづくりと持続可能な観光振興について考える）



そして1日目の最後には、夕食をいただきながら草津のまち歩き体験や、セッション1～3の内容を踏まえ、フリーディスカッションを通して全員で地域づくりに関する議論を深めます。終了後には、ご希望者のみ2次会として草津温泉街の夜体験として親睦会の開催を予定しております。ご参加の皆さま同士の交流を深めると同時に、湯畑周辺を散歩していただきながら夜の草津温泉情緒を味わってください。

2日目の朝は、ご希望者のみ「西の河原大露天風呂」体験もご用意しております。ご朝食・チェックアウト後には、最後のセッションとして講師、地元事業主や地元青年部の方々をパネラーとしてお迎えし、藤原直哉がファシリテーターとして車座パネルディスカッションを行います。(セッション4：地域振興の担い手に聴く)

自然との共生、歴史との共生、そして文化・伝統との共生を目指し、草津の良さが引き立つような風土回復を進められている現場を見学していただき、地域の再生に向けて尽力する地元の方々と専門家の方々から直接お話をお聴きいただいた上で、ご参加いただいた皆さまが各々の地域に戻り、まちづくりに取り組む上で参考となるさまざまなヒントや勇気を得ていただきたいと思っています。一人でも多くの方のご参加を心からお待ちしております。

2012年2月吉日
シンクタンク藤原事務所

<2. 研修同行講師>

中西佳代子氏 (なかにしかよこ)

まちづくりプランナー

株式会社ランドスケープ アンド パートナーシップ代表取締役

<http://www.landscape-p.com/>

専門：地域計画に係わる計画、制度設計、人材育成など

1967年東京生まれ。慶応義塾大学経済学部卒業。ハーバード大学大学院都市計画修士号取得。子供の頃より街歩きが好きで、多くの街を訪ね歩く中でまちづくりに興味を持つ。大学卒業後、8年間の旧建設省勤務を経て、より地域に根ざしたまちづくりを志し、田村和寿氏(桐蔭横浜大学教授。全国各地の公・民プロジェクト多数に、総合的な視野に立つまちづくりコーディネーターとして参画。)の下で一年ほど地域の現場を経験する。

その後、世界の都市の歴史やまちづくりのステークホルダー論に興味を抱き渡ったハーバード大学では、南米史上最悪といわれるベネズエラ北部集中豪雨災害(1999)の復興プロジェクトを通して、途上国における地域再生の問題の難しさ・奥の深さを実感。帰国後、途上国を含めた国内外の人材育成、観光、景観などを軸としたまちづくりに8年ほど携る。

2010年、株式会社ランドスケープアンドパートナーシップ設立。まちづくりプランナーとして、地域計画に係る調査、計画、制度設計、人材育成、事業実施、住民主体によるまちづく

り活動のサポートなどを行う。「地域の人々とのコミュニケーション構築がまちづくりの基盤」との信念の下、住民を交えて行う課題整理や、地域固有の生活・歴史・文化・自然の価値の再評価、これらを踏まえ地域の本質的な価値を高めるためのルールやシステムの構築を得意とする。

夢は、子供たちが幼い頃から自分のまちを意識し、地域の個性を発展させていけるようなまちづくり教育を行うこと。

趣味は街歩き（これまでに歩いた街 40 カ国以上）、スキー、読書。世界のまちの文化について語ること。

*群馬県草津町の観光・景観まちづくりには、8年以上にわたり携っている。

尾崎明子氏（おざきあきこ）

株式会社グローシーズ・サポート代表取締役

NGO TECHJAPAN 専務理事



専門：サステナブルなリージョナルツーリズム

学生時代オーストリアのホテルで研修中、ヨーロッパの各地を廻り、自然と共生する旅行形態にあこがれ、旅行業界へ。その後、中国専門旅行社に 25 年間在籍。集客、企画、手配、添乗すべての旅行業務を経験し、旅行業界の仕組みすべてを知り尽くし退職。現職に至る。添乗しながら中国語をマスター、土地柄ヘルパー2級の免許をとり、高齢者も安心して参加できるユニバーサル旅行を提案。北京オリンピックの際には、実際に使えるバリアフリーを北京市の観光地やホテルに適用する都市再開発とユニバーサルな都市作りを求め、車椅子や障害をもったお客様とともに北京市政府へ提言するバリアフリーツアーを造成。市政府へ提言書を提出、受理される。旅行者が旅で実現したいことをヒアリングしそれが地元のためにもなるような旅をプランニングする「オーダーメイドの旅」を得意とする。今後は観光業界が先頭にたち、豊かで平和な国際社会や民族間の協調に寄与するサステナブルツーリズムを実現していくことに力を注ぐ。

*2009年より外国人観光客を草津に誘致するため、草津の調査を開始。シュミット村木やドイツの映画製作会社などと協力し、草津の観光まちづくりに側面から尽力する。

<3. 研修行程表>

6月23日(土)

時間	行程	詳細&ねらい
13:00	山本館ロビー 集合・受付	・フロントに荷物を預ける。
13:15～ 14:30	セッション1 @山本館別室	▼セッション1：草津温泉を知る ・研修説明（滞在中の伝達連絡事項など） ・講師、参加者自己紹介 ・草津温泉の概要（草津温泉をとりまく観光素材） ・草津温泉街の歴史
14:40～ 16:00	セッション2	▼セッション2：草津温泉を体験する ・まち歩き ・途中、共同湯の1つ「地蔵湯」を体験予定 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
16:00～ 16:30	休憩	・全員チェックインを済ませる。
16:30～ 18:00	セッション3 @山本館の湯畑に 面した部屋 （湯畑を見下ろす お部屋にて、実物 を見ながら）	▼セッション3：風景とまちづくりと持続可能な観光振興 について考える ・風景とまちづくり（風景の価値/尊さ、地域の記憶など） ・景観対策とは？（地域で景観に取り組む意義、景観をルール化するという事、など） ・まちづくりを動かす仕組み （人を動かすこと、制度の活用、地域内外の人材の協力など） ・昨今の観光旅行形態と、地域振興のためのサステナブル &リージョナルツーリズム
18:00～ 19:00	休憩	・草津の老舗温泉旅館である山本館の内湯を体験
19:00～ 21:00	夕食 @山本館	・「まち歩き」で書き出した「草津らしさ」について一人ずつ発表 ・フリーディスカッション ※終了後、草津温泉街の夜体験として親睦会を開催予定 （希望者のみ&実費分現地精算）

6月24日(日)

時間	行程	詳細・補足
7:00～ 8:00	散歩	・「西の河原大露天風呂」体験 (希望者のみ&入浴料500円現地精算)
8:00～ 9:00	朝食	・朝食後、各自チェックアウトを済ませて、フロントに荷物を預ける。
9:30～ 11:30	セッション4 @山本館	▼セッション4：地域振興の担い手に聴く ・草津の事業主やまちづくり活動の担い手の話を聴く (事業の立て直しのために取り組んできたこと、地域の景気低迷時に自分ができること&地域に期待すること、まちづくりの取組みの中で苦労していること、今後の展望など) ※車座パネルディスカッション形式(質疑応答含む) ファシリテーター：藤原直哉 パネラー：地元事業主や地元青年部の方々、講師
11:30～ 12:00	アンケート、閉会 解散	・参加者アンケート、閉会挨拶 ※草津の今後のまちづくりの参考資料として、また、ツアー運営・内容の改善に役立たせていただきます。

※天候や現地事情により日程が一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

<4. 研修参加費用>

40,000円(税込み)

(1) 研修参加費に含まれるもの

・宿泊料金	宿泊先：山本館(登録有形文化財) 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津404 TEL：0279-88-3244 FAX：0279-88-3245 http://yamamotokan.com/ 原則として相部屋です。
・食事料金	研修行程表に記載された夕食1回、朝食1回
・講師に関わる費用	研修講師： 藤原直哉(経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所会長) 中西佳代子氏(㈱ランドスケープ アンドパートナーシップ代表取締役) 尾崎明子氏(㈱グローシーズ・サポート代表)
・旅行保険	(限度額お一人様死亡障害350万円)

(2) 研修参加費に含まれないもの

・研修オプション参加費	1日目夜：親睦会、2日目朝：西の河原大露天風呂体験
・個人的性質の費用	タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします。

<5. 研修要領>

募集人数	16名（最小催行人数：10名）先着順・定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛にお送りください。 （FAX、メール、または郵送でお願いいたします。） 最終申込締め切り：開催日4日前まで（6月19日火曜日）
研修参加費	2012年6月19日（火）までに、研修参加費の全額を以下の口座へお振込みください： 1) 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店（店番135）普通預金 2016760 名義：有限会社藤原事務所 ユ) フジワラジムショ または 2) 郵便局 記号10050 番号63484591 名義：有限会社藤原事務所 ユ) フジワラジムショ ※お振込み手数料は、お客様にてご負担くださいますようお願い申し上げます。請求書・領収書がご入用の際には、お申し付けください。
取消料	お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。 出発日の前日より起算して1ヶ月前まで：1万円 出発日の前日より起算して2週間前まで：参加費用の40% 出発日の前々日および前日：参加費用の50% 出発日の当日又は無連絡不参加の場合：参加費用の80% 研修開始後：参加費用の100%
研修主催 （お問合せ）	シンクタンク藤原事務所 〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-13-12 ASUKAビル2F TEL：0465-44-4750 FAX：0465-44-4751 E-mail：higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当：樋口敬子（ひぐちけいこ） ※お申込いただいた方には、当日の緊急連絡先をお伝えいたします。

<6. 研修概要>

・研修名称	『歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学：草津温泉に学ぶ、地域の良さを引き出すまちづくりの仕組み』
・日時	2012年6月23日（土）・24日（日）の2日間
・研修場所	群馬県吾妻郡草津町
・集合解散場所	集合：23日（土）13：00@山本館 解散：24日（日）12：00@山本館
・研修内容	各種見学、体験、講演など
・研修講師	藤原直哉（経済アナリスト、シンクタンク藤原事務所会長） 中西佳代子氏（㈱ランドスケープ アンド パートナーシップ代表取締役） 尾崎明子氏（㈱グローシーズ・サポート代表）

<7. 集合・解散までからの交通手段：電車+バス編（ご参考）>



出典：草津温泉観光協会サイト

「湯 love 草津」

<http://www.kusatsu-onsen.ne.jp/access/index.html>

(1) 東京方面から

▼高速バス利用

行き：

新宿駅新南口 8：00 発→草津温泉 12：10 着（上州めぐり 1号）

帰り：

草津温泉 13：00 発→新宿駅東口 17：10 着（上州めぐり 10号）

※片道運賃 3,200円 <http://p.tl/fbKg>

▼新幹線東京方面+バス利用

行き：

東京 8：36 発→軽井沢 9：45 着（あさま 509号長野行）

軽井沢 10：10 発→草津温泉 11：26 着（草軽交通）

※片道運賃（軽井沢～草津温泉）2,200円

帰り：

草津温泉 14：00 発→軽井沢 15：16 着（草津交通）

軽井沢 15：24 発→東京 16：32 着（あさま 532号東京行）

▼特急草津号+バス利用

行き：

上野 9：00 発→長野原草津口 11：28 着（草津 31号）

長野原草津口 11：38 発→草津温泉 12：00 着（JRバス）

※片道運賃（長野原草津口～草津温泉）670円

帰り：

草津温泉 12：55 発→長野原草津口 13：23 着（JRバス）

長野原草津口 13：46 発→上野 16：10 着（草津 32号）

※高崎 14：48 着

(2) 大阪方面から

▼新幹線、特急草津号+バス利用

行き：

新大阪 6：32 発→東京 9：03 着（のぞみ 102 号東京行き）

東京 9：20 発→高崎 10：10 着（あさま 511 号長野行き）

高崎 10：20 発→長野原草津口 11：28 着（特急草津 31 号）

長野原草津口 11：38 発→草津温泉 12：00 着

帰り：

草津温泉 14：00 発→軽井沢 15：16 着（草津交通）

軽井沢 15：24 発→東京 16：32 着（あさま 532 号東京行）

東京 16：40 発→新大阪 19：16 着（のぞみ 187 号広島行）

※それぞれの路線時刻表など詳細情報は、草津温泉刊行協会サイトをご覧ください：

<http://www.kusatsu-onsen.ne.jp/access/index.html>

※お車でお越しになられる方も、直接山本館までお越しください。

（山本館契約駐車場に停めていただくこととなります：有料の場合もございます）

http://yamamotokan.com/map_f.html

草津温泉バスターミナル～山本館までの地図



<集合・解散場所>

山本館 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町草津 404 TEL：0279-88-3244

草津温泉バスターミナルから、山本館まで徒歩 5 分となっております。

バスターミナルから湯畑を目指して歩いていただくと、湯畑に面している山本館が見えてきます。

<8. 注意事項・持ち物など>

- ・まち歩きをしますので、歩きやすい履物でお越してください。
- ・現地集合、現地解散となりますので、交通費は各自でご負担ください。
- ・ご宿泊のお部屋につきましては、相部屋となりますので予めご了承ください。
- ・雨季になりますので、念のため折りたたみ傘をご持参ください。
- ・集合前に各自でご昼食をお済ませになられてからご参加ください。

申 込 書

2012年6月23日(土)・24日(日)

歴史に学び、今を生き、未来を創る社会見学

－草津温泉に学ぶ、地域の良さを引き出すまちづくりの仕組み－

ご記入日： 年 月 日

選択してください

・自家用車でご参加

・電車&バスでご参加 (バスターミナル到着予定時間 :)

フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前		生年	明・大・昭・平(西暦 年)
		月日	年 月 日 (満 歳)
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)			
フリガナ		性別	男 ・ 女
お名前	続柄	生年	明・大・昭・平(西暦 年)
		月日	年 月 日 (満 歳)

■ ご連絡先について

<input type="checkbox"/> ご自宅 <input type="checkbox"/> 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。			
会社名 学校名等	※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。		
	部署：	役職：	
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	() -	FAX	() -
携帯電話	緊急時連絡可・不可		
電子メール	@		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <small>※部屋割りの参考にさせていただきます。</small>	●その他ご希望等ございましたらご記入ください。	
親睦会の 出欠席	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加		

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子

TEL：0465-44-4750 E-Mail：higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX 送信先：0465－44－4751↑

切り取り